

8月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



8/6 「なつのゆうがたをたのしもう」をテーマに花火を持って中野駅に集合。日が暮れる時間を楽しみました。直前まで雨がゲリラ的に降っていましたが、な



んとか雨にはあわずに行うことができました。追跡記号を頼りに公園まで移動。スタート時点で出された課題を解いて途中の商店ですいかと巨峰をゲットして向かいました。今回の集会のメインはすいか割りとは花火です。すいか割りでは「みぎ、みぎ」「そこ、そこ」とスカウト同士、声をかけあっていました。す



いか割りのあとのみんなで食べるすいかは格別で、「もっと食べたい〜」「おいしい」と食べていました。その後、蚕糸の森公園に移動し、時間いっぱい花火を楽しみました。花火もみんなでやるとまた違う楽しさがありました。最後はしっかりと線香花火を。スカウトの目の前でもピカピカと光っていました。蚕糸の森公園では地区の記念植樹「ハナミズキ」も観察しました。



8/27 「みんなの夏休み」



をテーマにキャンプファイヤーもどき?の場を設けてスカウトソングを歌ったり、アクションソングで身体を動かしました。また夏休み中にスカウト一人一人が取り組んだことや夏休み中に頑張ったことなどを発表しました。

・・・5種類の葉っぱシール、それぞれ2つまで頑張ることや取り組むことをお家の人と考えて、夏休み中に取り組み、ノートやファイル、しおりにまとめたり、工作物にしていました。それらを持ってきての発表でした。「〇〇に行って〇〇を見てきました。〇〇を作りました。朝ごはんを〇〇を作りました。〇〇について調べてみました。」など、取り組んだことを感じたことや考えたことと一緒に発表できていました。



最後に中野8団の夏キャンプや世

界ジャンボリーに参加したお兄さんから話を聞きました。こちらは保護者の方が興味津々聞いていました。カブ隊に上がったからの舎営やボーイ隊でのキャンプが楽しみになったかな? 入隊式も行われ、新しいメンバーが2名増えました。



カブ(CS)隊



8/27 組集会

8月の夏のキャンプ以降初、8月最後の組集会。外で朝のセレモニーをして、なわ結び組対抗ゲームのあと、部屋に入って夏の思い出発表から開始。

その後夏のキャンプのおさらいとして、一番楽しかったプログラム選出(流しソーメンでした)やカブブックのサインチェックを行いました。後半は、9月の環境プログラムテーマ“日本の自然に優しい道路とは?”がスタート。今年も色々なプログラム





に挑戦しますが、まずは世界中のスカウトの為に昨年スタートした持続可能な社会実現のための課題に取り組む新環境プログラム Earth Tribe(アーストライブ)について説明を聞きました。9月の隊集会でプラごみバスターズ大作戦に参加するので、プラスチックチャレンジ章を目指すため、プラごみについての自己評価をして続きは次回に。

ボーイ(BS)隊



8/6 夏キャンプに向けて最後の集会を行いました。ロープワーク、読図などの技能がキャンプでは必須になります。不安なところはないかな?あいまいにしてない?4月に上進してきたスカウトもいる中で班で協力しあいながら最後の確認を行いました。キャンプで成果が出るといいね!



8/16-21 東京連盟 75 周年記念キャンポリー

夏キャンプに続き、4名のスカウトがキャンポリーに参加しました。今回彼らは、あすなる地区(中野・杉並各団)、北多摩地区、多摩西地区、城北地区のメンバーで構成された合同隊 B に所属することになりました。鋸山ハイキングや富津公園のジャンボプールなどの場外プログラムやピザ作り、アックススローイング、星座観察の場内プログラムに参加しました。



今年の夏は、最大 10 泊のスカウトキャンプを経験することができました。遅くなった彼らの今後に期待して下さい。

8/27 キャンプの振り返り集会をしました。今回のキャンプでどんな進級ができたかな?進級進歩の確認を行い、サイン漏れがないかなど確認しました。夏キャンプ、東連キャンポリーと続き今回の集会。少し疲れていると思いきや、どのスカウトも元気いっぱいでした。



ベンチャー(VS)隊



8/6 ボーイ隊集会に 2 名のスカウトがジュニアリーダーとして参加しました。キャンプ前最後の集会ということで、様々な面でサポートを行いました。
8/27 カブ隊集会に 1 名、ボーイ隊集会に 2 名のスカウトがジュニアリーダーとして参加しました。ボーイ隊集会後には 1 名のスカウトの進級課目にもあるキャンプの会議を実施しました。10 月を予定して企画を進めております。

ローバー(RS)隊



8/6 ボーイ隊の夏キャンプに向けた備品整理に K くん、S くんが参加しました。ビーバー隊の夕涼みに S くん、Y さんが参加しました。
8/21 ボーイ隊の東連キャンポリー備品搬出お手伝いに F くん、K くんが参加しました。
8/27 ボーイ隊の集会に K くん、ビーバー隊の集会に M くん、S くんが参加しました。

8月夏季キャンプの活動内容報告

カブ(CS)隊 夏季キャンプ舎営



8/10-13 今年の夏キャンプは今年静岡県御殿場市 国立中央青少年交流の家にて富士山の麓をベースに、テーマ“神秘の山 富士山を守れ!”

8/10 中野からバスで出発、交流の家に入る前に、富士サファ



リパークを訪問。バスでそのまま回る〈サファリゾーン〉と、歩いて回る〈ふれあいゾーン〉でそれぞれ動物たちを間近に見学しながら、動物たちを探索する課題に取り組みました。“サファリ”とは、スワヒリ語で旅、主に狩りを指すいわゆる猛獣狩りだっ。

交流の家に着後、オリエンテーションにて、3つの約束、あ

いさつ/じかん/おもいやりを守る約束をして、宿泊棟に移動、“デンづくり”をスタートしました。今回は大きな部屋で、男女別部屋なので、部屋のデンは作れないけど、組のアピールポスターをみんなで作成。夜は場内のナイトハイキングに。地図をもとにポイントに貼られた文字を集めて暗号を解読。“世界遺産の富士山を守れ”を全組解読できました。今回くまスカウ



ト(5年生)が組長次長を含む12人参加しているので、寝る前に「くま会議」で反省点や楽しかったこと、翌日のプログラムについて、確認して一日を終えました。

一日天気に恵まれて、サファリパークは暑かったけど、交流の家は標高707mなのでちょっと過ごしやすかったです。みんな興奮して、中々寝ませんでした。とても楽しそうに2日目に突入!

8/11 キャンプ2日目 台風のはざま、朝から晴れていて無事メインのハイキング決行です。バスで富士山御殿場口新五合目へ、そ



こから双子山を目指しました。登山口で指令書を受取り富士山の情報に関する課題を先ずクリアして、いよいよハイキング開始。課題の一つの気温調査では、標高1,440mの登山口の気温最高25℃/最低17℃。(富士山頂最高12℃/最低5℃)で涼しい中で

のハイキングになりました。先ずは火山灰の砂利の上り、林の中での上り、林間ではロープをつたわないと登れないコースなど様々な道を通って幕岩を経由し、林を抜けて枯れ沢を横切り、火山灰のきびしい登りを経て上双子山を望む四辻に到着。ここでは素晴らしい景色が待っていました。山側は上下の双子山と宝永山の向こうに富士山の頂上が雲が途切ると見え隠れします。また、南を向くと相模湾を臨めます。最初の組から最後まで1時間くらい差が出ましたが、スケールの大きい絶景の中、順次お昼を取った後、下双子山山頂を経て火山灰の砂利道の激しい長い長い下り坂をスピードを抑えながら下山。1人リタイヤ者が出ましたが、他はみんな協力し合って歩ききりました。





帰ってきてから最後の夜のキャンプファイヤーでのスタンツの話し合いがスタート。テーマは富士山！みんな組ごとのオリジナルストーリーを話し合って役割を決め練習を進めていきます。夜の時間もスタンツ練習に充てました。この日から、前日から取り組んでいる課題の優秀組の表彰が始まり、組の組旗には優秀組の証が光ります。課題ごとに増えていくのでみんな優秀組を目指して頑張り！

す日として、朝の課題“まとを狙え！”で組対抗ディスクゴルフの9ホールに挑戦。組



全員のスコアの平均で競いました。



その後、同交流の家のボーイ隊キャンプサイトにお昼は久しぶりの流しソーメンにお呼ばれです！自分の事は自分でするカブ隊として、竹でソーメンのつけ汁の器と箸を作りました。うさぎとしかは竹のふしを見ながらノコギリで

切って、くまはリーダーがなたで割った箸をナイフでささく

れを落としました。くまキャンプでフィールドマスターで使い方を習っておいて良かった。そしていよいよ流しソーメン。カブ隊の目つきが変わりました！竹で組まれた流し場の前に陣取り2組ずつ交代でソーメンを捕まえます。勿論ソーメンが流れてくるけど、他にもいろいろなものが流れて来て、キュウリやミニトマト、ウインナーやグミまでみんな喜んで捕まえました。ちょっとみんな食べ過ぎ！食後に



ボーイ隊の皆さんにお礼を言ってから、ボーイ隊のキャンプサイトツアーへ。本部からフェニックス班とおおかみ班のサイトに分かれて説明を受けました。みんな興味津々でテントの中に入ったりゲートをくぐったり。

その後はキャンプファイヤーのスタンツの大詰め。もう後が無いのでみんな一生懸命話し合い、台本づくり、セリフ直し、小道具づくり、演技練習などががんばりました。暗くなってきた19:15頃、営火場に行っていよいよ



キャンプファイヤーのスタートです。光の道筋を通っ

て、営火長の天下の合図で火が飛んで来てスタート！歌って踊ってゲームして、スタンツを披露して、盛り上がり大きな声を出して、おごそかに、みんなとっても楽しみました。

寝る前のくま会議では、反省点と楽しい点をみんなに話してもらいましたが、圧倒的に流しソーメン！目いっぱい楽しんだ3日目でした。



8/13 キャンプ最終日 4日間朝のパターンは7時からの使用グループ全体の朝のつどいに参加してその後レストランで朝食。朝のつどいでは希望グループが国旗掲揚を担当しますが、最終日の朝は中野8団カブ隊が担当しみんなの前で掲揚しました。また朝食のレストランですが、バイキング方式ですが、ど

れも美味しくてスカウトたちに大好評！みんなお腹いっぱい頂きました。

退所の片づけを厳重にした後、課題の“富士山ゆかりのいくさ飯”として、ほうとうの野外調理を早々に始めました。お盆の週末として東名高速の大渋滞が予想されるので出来る限り早め早めに。ほうとうは麺が来るとしたら粉で練ってからだったため、調理師のお父さんに担当してもらってスカウトには野菜と調理の専念してもらって11時過ぎに出来上がり早めに食べることが出来ました。



最後に各課題の優秀組と4日間の総合優秀組、個人賞の表彰式を行い、その後閉所式で感謝状を交流の家の方にお渡しし、バスに乗って帰路につきました。1時間くらい早めに出たので、殆ど渋滞にはまらず、予定到着時刻18時のところ15時に到着し、中野四季の森公園で解散してみんな帰路につきました。各組協力し合って頑張ったり、ケンカしたり、

色々ありましたが、最後はみんな達成感でたくましい顔がたのもしくもありました。特にくまスカウトは、最後のクラブ隊の活動として責任感もついてきて、成長が感じられますので、これかの時期も楽しみです！



ボーイ(BS)隊



隊キャンプ

2023/8/8-13 夏キャンプ

年間で一番のビックイベント！待ちに待った夏キャンプ！5泊6日という長い日程で行いました。今年のキャンプ地は静岡県御殿場市にある「国立中央青少年交流の家 富士のさと」です。富士山の麓にあり、その眺めは折り紙つきです。スカウト達も日本一の山である富士山を間近で見ることができ、喜んでいました。



8/8 キャンプ初日。朝

早くに四季の森公園に集合し貸切バスで向か

いました。3時間ほどバスに揺られ現地へ到着。開所式を済ませ、早速設営に入りました。晴天に恵まれたもののかなりの猛暑。熱中症対策に気を配りながら行いました。この日は設営に専念し、翌日からのプログラムに備えました。

8/9 キャンプ2日目。いよいよメインプログラムが始まりま

す。この日は富士山トレッキング！のはずでしたがあいにくの雨で中止に…残念！キャンプ場内で火おこし対決を行いました。そして後日行う予定であった野外工作物の制作も行いました。班ごとにサイト入口のゲート、朝を快適にする洗面台の二つを制作しました。材料である竹を切っ



たり割ったり、そしてロープで縛ったりと。今まで学んできた技能を駆使してどのスカウトも真剣に取り組んでいました。天候に恵まれない1日でしたが無事にこの日も終わることができました。

8/10 キャンプ3日目。前日と一変してこの日はよく晴れていました。この日はキャンプ場の施設内を巡る宝探しポイントラリーをしました。各ポイントでは手旗、コンパス&歩測、火おこしなど野営技能を必要としたミニゲームを実施し、つまづきながらも班で協力して取り組んでいました。今までの成果を出せたかな？ポイントラリーを無事終了し、



夕食へ。この日はリーダーを班サイトへ招待

し、夕食をご馳走するというなんと珍しいプログラム！献立である富士宮焼きそばを作り、リーダーの評価も高かったです。やったね！ナイトプログラムは天体観測。東京では絶対に見られない綺麗な星空にスカウト達は驚いていました。いい思い出になったでしょうか。

8/11 キャンプ4日目。この日はウォーターアドベンチャーと題してカヤップに挑戦！カヤップとは「カヤック」と「SUP」を融合したもので、新しい形のアドベンチャーです。富士山をバックに美しい景観の山中湖を巡りました。



立って漕いだり座って漕いだり。最初は苦戦しながらも後半にはどのスカウトもコツを掴んだのか楽しそうに漕いでいました。帰營し、夕食後は翌日夜のキャンプファイヤーに備えたスタントの練習を行いました。



8/12 キャンプ5日目。長かったキャンプもあと少し。午前中はカブ隊のスカウトが遊びに来ました。カブ隊のスカウトはボーイ隊がどんなキャンプをしているのか、どんなことをしているのかを知り、驚いた様子でした。

数年後は仲間になるスカウト達。先輩スカウトとして優しく接していました。昼食はカブ隊と合同で流しそうめん！コロナの影響でしばらくできていなかったのも楽しんでいました。

午後は夜のキャンプファイヤーに備えたスタント練習と徹営に向けた班集会。久しぶりのスタントに向けて最後の追い込みをしました。

そして待ちに待ったキャンプファイヤー！カブ隊と合同で行い、人数も多く大変盛り上がりしました。キャンプの大取りといえばやっぱりファイヤー。スタントも大成功！みんな楽しんでおりました。

8/13 キャンプ最終日。長かったようであっという間。昼の退所式を目指して徹営作業に取り組みました。かなりの猛暑の中でしたがスカウトの努力で時間通りに終わることができました。退所式を終え、いよいよキャンプ地を去ります。このキャン



プを通じて色々な思い出ができたと思います。楽しかったこと、辛かったこと。でもそれは間違いなく自分の経験値として培えたはず。6日間お疲れ様！



ベンチャー(VS)隊



隊キャンプ

8/8、10-13 ボーイ隊、カブ隊の夏キャンプにジュニアリーダーとして3名のスカウトが参加しました。

8/8 初日は主に設営作業のサポートを行いました。テントの立て方や班サイトの設営に役立つノウハウをアドバイスしました。

8/9 2日目も主に野営技能に関するサポートを行いました。火起こしのコツや薪の割り方、ロープワークの基本などを伝授しました。

8/10 この日からカブ隊も参加。ボーイ隊側ではキャンプ場内でのポイントラリーを行い、各チェックポイントの担当を勤めました。カブ隊側ではサファリパークに行きました。バスに乗るスカウトを誘導したりなどスカウトの安全に気を配りました。

8/11 ボーイ隊は山中湖にてカヤップに乗りました。ベンチャー隊のスカウトもボーイ隊のスカウトと同じくらい楽しんでいました。カブ隊は双子山へ向けハイキングを行いました。道中が陰しかったり、気温が低かったり過酷な状況ではありましたが、上級スカウトとしてサポートを行いました。

8/12 ボーイ隊は午前中キャンプ場に遊びに来たスカウトに班サイトの紹介を行いました。どのように説明すれば分かりやすいかなど、自分の経験も踏まえてアドバイスしました。午後は班集会。今回のキャンプでの進級成果や今夜へのスタンプ練習などをサポートしました。カブ隊はボーイ隊のキャンプ場に行き興味津々。自分がボーイ隊時代の頃の話をしてあげたりとスカウトの目を引いていました。その後は夜に向けたスタンプ練習をサポートしました。そして全体合同のキャンプファイヤー。みんながー丸となって楽しみました。

8/13 キャンプ最終日。ボーイ隊は撤営作業。設営の時同様にコツなどを伝授しました。カブ隊も退所の片付けを行い、その後はみんなで協力してほうとう作り。ベンチャースカウトのサポートのおかげもあり早めに完成することができました。力になれたね！

その後は各隊共に帰路につきました。

ジュニアリーダーに任命されてから初めて任命隊で過ごす夏キャンプ。上手くいかなかったことやこうすればよかった、逆によくできた！成功した！など色々感じたはず。今までとは違うと言われるようにやる、ではなく自分がスカウトの前に立ってサポートする立場に。

今回の夏キャンプが今後のジュニアリーダー、そしてその先の立場として活躍する上で非常に良い経験になったこと間違いなしです。お疲れ様でした！

ローバー(RS)隊



8/8-13 ボーイ隊の夏キャンプにKくん、Sくん、Yさんが参加しました。本部での活動が主でしたが、スカウトに対しても技能面やコミュニケーション面などで気を配り、より良いキャンプにしようと盛り上げてくれました。

第25回世界スカウトジャンボリー参加報告

7/28-8/14 4年に1度の世界スカウトジャンボリー。今年は韓国全羅北道セマングムで行われました。中野8団からは、ローバー隊のMくんがISTとして参加。ISTとは、International Service Team のことで、スカウトとしての参加ではなく、運営側のスタッフとなり、参加スカウトへのサービスを行いました。

今回のジャンボリー、なぜかネットニュースで(どちらかというとなガティブな)記事が話題となりましたが、ほとんどのネタ元は韓国国内の新聞報道。誘致した時と現在の政権が違うため、対応の変更などに関する政治がらみのキャンペーン記事でもあったようです。報道でご存じの方も多いように、後半は台風直撃コースとなることがわかったため、韓国国内のさまざまな場所にそれぞれの国ごとに収容していただきました。日本隊はお寺に。急に千人からの人数を収容し、食事をふるまってくれたお寺には感謝ですね。最終日はソウルで閉会式となりました。猛暑の中のキャンプではありましたが、参加者は楽しんだ模様。イレギュラーなことがあっても過ぎてしまえば楽しい思い出です。きっとどのジャンボリーより記憶に残ることでしょう。



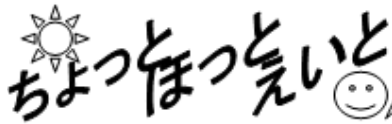
ローバー隊 T. M.

今回のジャンボリーは今までのスカウト活動において1番辛いものだった。というのも今回のジャンボリーはコロナ明けてから初めての世界ジャンボリーであり、会場も干拓地で、日陰がなく猛暑が続いたためである。そのため、コロナ感染者や熱中症患者が多く発生した。私は今回ISTという大会を運営する側として参加したが、ISTの中でも倒れる人がいた。しかし、私は体調を崩すことなく帰国できたため、良かった。

ISTとして私はFood supply chainという仕事に就いた。仕事内容としては朝と夜のご飯をスカウト達に配給するというものである。そのため、朝3:00と夕方の15:00にスカウトのサイトに行きトラックから食料を下ろさなければならなかった。生活リズムが狂っていた。ISTは他の国のスカウトと一緒に仕事を行うものだったので、辛い仕事を共にしてとても仲が深まった。例えば、台湾、フィリピン、マレーシアなどの人と行った。

楽しかったこともある。それはISTだけのDJクラブやパーティーである。DJクラブは主に洋楽が流れていてあまり知ってる曲は流れなかったがみんな踊ったり歌ったりしていた。人をつぎ上げる人もいた。パーティーは他の国の人とご飯を食べてお話しをした。普段外国人と話すことが減多にないため、拙い英語だったが楽しかった。

色々大変ではあったが、終わってみて、いい経験になったと思う。また、ジャンボリーはボーイスカウト活動で一番楽しいものなので、ぜひ後輩たちにも参加してほしいと感じた。



活動で見つけたほのほの話

お知らせ本文でもご案内の通り、保護者の皆様に、運営支援についてお願いをしております。なおビーバー隊、カブ隊の保護者様の皆様には、まずはそれぞれの隊における、補助者、デンリーダーとして、活動への奉仕を、ボーイ隊以上の保護者の皆様には団運営お願いしたいと思います。

スカウト運動を進めるためには成人の支援が欠かせません。各隊指導者をはじめとして、皆がボランティアで関わっています。ボランティアの基本は「できる時にできる人ができることを」サポートとして、是非、できることでご参加いただければと思います。



リーダーの活動

- 8/14 地区委員会
- 8/28 地区コミ会議



- * 活動の写真は団の Google Drive で共有しています。ご希望の方は各隊隊長にご自身の Google アカウントをご連絡ください(Google アカウントをお持ちでなくご希望の方はアカウントを作成ください。無料で簡単に作成できます)。
- * Facebook ページで活動の様子を報告しています。アカウントがなくても閲覧いただけます。

<https://www.facebook.com/nakano8/>

スカウト豆知識

「スカウト活動を支える組織」

日本連盟では、スカウト活動をささえる組織を次のように規定しています。

○保護者の会と育成会

保護者の会は、スカウトの保護者によって構成され、隊行事や野外活動への参加依頼、インストラクター、備品の整備、進歩への協力などをお願いします。また育成団体は、団という運営単位の健全な育成に協力してこれを後援します。

○団会議

教育の単位である隊が、ひとつの共同体としての「団家族」となるために、団会議は、各隊指導者によって構成されます。

○団委員長と団委員会

団委員長は、団委員の互選によって選出す団の代表者です。団委員は、それぞれの役割を分担して、団委員会として活動します。

○地区と県連盟

団は、都道府県連盟（県連盟）に所属します。県連盟は、地域状況により分割して地区をおくことができます。地区内のすべての加盟団はその地区の構成員となります。

○日本連盟のサービス

日本連盟は日本のスカウト運動を取りまとめる機関です。

ここで、日本連盟が定める団委員会に関する規定（主なもの）を紹介します。

○団委員会の任務は、次のとおりとする。

- (1) 団の存続を維持し、発展させること。
- (2) 団の財政について責任を持つこと。
- (3) 団の資産を管理すること。
- (4) 集会場、備品、キャンプ等の実施について便宜を図ること。
- (5) 隊指導者の選任と養成について責任を持ち、隊指導者の任務を果たすこと及び訓練への参加を支援すること。
- (6) 団内スカウトの進歩の促進を図ること。
- (7) 団内のスカウトの入退団を管理し、団の加盟登録について責任を持つこと。
- (8) 団内スカウトの健康と安全の向上に努めること。
- (9) 本運動の主旨の普及に努めること。

○ 団委員会は、スカウトの実際の訓育及び教育には直接たずさわらない。

○ 団委員長は、団委員の互選とする。

○ 団委員長は、各隊の運営や指導については隊長に責任をゆだねる。